

生活者としての外国人の地域社会への参加を促す日本語学習支援に関する研究：中国人結婚移住女性を事例として

張, 曉蘭

<https://hdl.handle.net/2324/1807129>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（学術）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

氏 名 : 張 曉蘭

論 文 名 : 生活者としての外国人の地域社会への参加を促す日本語学習支援
に関する研究-中国人結婚移住女性を事例として-

区 分 : 甲

論 文 内 容 の 要 旨

本研究は、中国人結婚移住女性を事例とした、生活者としての外国人の地域社会への参加と日本語学習支援に関する基礎的研究である。

近年、生活者としての外国人の増加に伴い、彼らを対象とする調査研究が期待され、既に多くの研究が行われているものの、学習段階に応じた支援に関する研究、ことに日本語学習を地域社会へ参加する経路と関連付けて捉える視点に立つ研究が大きく欠落している。そこで、本研究は生活者としての外国人の日本語学習と彼らに対する日本語学習支援のありようを考える上で、日本語学習を地域社会へ参加する経路と関連付けて捉える視点に立ち、地域日本語教室における支援と学習者の自律学習、日本語学習と地域社会への参加との関係を明らかにした。この目的を達成するために、学習における社会的要素に注目する必要があるとあり、人間の活動を、個々の認知ではなく、周辺の社会的要素に注目して、他者との関わりとして捉えようとする社会文化的アプローチを本研究の理論的枠組みとした。具体的には、どのような日本語学習支援が、結婚移住女性の周縁的参加から十全的参加を寄与するののかという問題意識の下、周縁的参加から十全的参加への経路を「周縁的参加の段階」、「周縁的から十全的への移行段階」、「十全的参加の段階」と3つの部分に分けて、以下3つの研究課題を設定した。

- (1) どのような日本語学習支援が、結婚移住女性の地域社会への周縁的参加に寄与するののか。
- (2) どのような日本語学習支援が、結婚移住女性の地域社会への参加の変化に寄与するののか。
- (3) どのような日本語学習支援が、結婚移住女性の地域社会への十全的参加に寄与するののか。

この3つの研究課題に対処するために、地域日本語教室における参与観察やインタビューを通して縦断的調査を実施した。まず、9名の中国人結婚移住女性に対して半構造化インタビュー調査をそれぞれ2回行った。また、そのうち1名の結婚移住女性に対してケーススタディーを行うため、半構造化インタビュー調査の3回目を実施した。さらに、日本語学習が地域社会への周縁的参加から十全的参加への経路の一部と捉える視点の有用性を確認すると共に、今後の研究の課題として、調査結果を結婚移住女性から広げて一般化していく可能性について検討するために、留学生の家族のための日本語教室で教室活動を録音し、4名の留学生の家族に対して質問紙調査及びフォローアップインタビュー調査を行った。

考察の結果、下記の結論を導き出すことができた。結婚移住女性は日本語初学者の時期においては、地域社会に周縁的に参加しており、地域日本語教室では、支援者による足場作りが日本語学習を促進することが明らかになった。その後徐々に日本語が上達し、日本語を使って地域社会で活躍したいとの目標を設定するようになる。この段階においては支援者との相互学習、協議による学習活動の機会が増え、そうした学習ニーズの変化や学習スタイルの変化に対応した支援が必要となる。

さらに、結婚移住女性は日本語能力の上達に伴い、地域社会において十全的に参加できるようになることが明らかになった。この段階においては、自律的な日本語学習が一段と進むが、一方では専門性を要する高度なニーズに対応する支援が新たに必要となる例があることも確認できた。その後、この高度なニーズに対応する支援も必要でなくなり、徐々に自律学習へと移行するプロセスが繰り返されていくことが考えられる。

また、留学生の家族に対する調査からも、支援者による足場作りが日本語学習を促進すること、及び日本語学習が地域社会へ参加する経路の一部と捉えられる視点の有用性が確認できた。

本研究における各章のまとめは以下の通りである。

第1章では、研究背景、目的、意義及び用語の定義について述べた。第2章では、本研究の理論的枠組みについて記述した。具体的には、社会文化的アプローチを代表する発達最近接領域理論、状況的学習論、活動理論から、本研究の理論的枠組みを設定した。第3章では、先行研究を概観し、先行研究における問題点を指摘した。第4章では、先行研究から導きだされる課題を整理し、課題を解決していくための方法について述べた。第5章から第7章はそれぞれ研究課題に応じて、周縁的参加の過程において結婚移住女性が直面する問題とその解決、周縁的参加から十全的参加への移行段階とその段階での支援、十全的参加に向かうための他者支援から自律学習への変化について考察した。第8章は総合的考察を行い、結論について述べた。